

研修レポート

議会運営委員会

基地対策・幹線道路特別委員会合同視察研修

日時 1月31日～

2月2日

研修先 鹿児島県知覧町

熊本県芦北町

議会運営委員会委員と基地対策・幹線道路特別委員会は合同研修を実施しました。

最初の研修は、鹿児島県知覧町で、陸軍特別攻撃隊の基地があった場所です。大東亜戦争末期の沖繩戦において、この基地から出撃

し、飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした隊員の遺影や写真、家族に宛てた手紙や遺品などが、知覧特

との説明があり、胸を打たれる想いで慰霊を行ってきました。

攻平和記念館に展示されていました。この知覧特基地からの出撃者は436名で、群馬県出身者も24名おり、その中には広馬場出身の18歳の青年少尉も含まれていました。特攻隊に志願し、家族や祖国の平和と繁栄を願いながら戦死された

2日目の研修は、熊本県芦北町でした。芦北町は熊本県の南部に位置し、総面積が233.81km²で約80%が林野となっていて、温暖な気候で、甘夏やデコボコの産地として知られている所です。町の人口は約19,800人で、65歳以上が7,000人余りであ

り、高齢化率が35.4%と高く、財政負担も多くなっているそうです。

芦北町は合併して8年目

を迎え、町政も軌道に乗ってきたとのことです。議員

の定数も22人から16人に削減が行われています。議会運営については、一般質問は一問一答形式で、1人の持ち時間は質問のみ30分です。会議録は公民館でも閲覧でき、また、本会議はテレビ放映を行い、役場ロビーでも20人から30人の人が視聴しているとの事です。議員研修については、1年

目と4年目については全員で、2年目、3年目については各委員会で実施しているそうです。

この視察で目を引いたのは、一般質問については町長の所信表明を聞いてから申し込み、持ち時間は質問のみで30分というような議会対策や、町長がトップセールスを行い、いろいろな所から補助金等を見つけてきているというような行政運営が行われており、学ぶべきところが多い研修となりました。

環境整備特別委員会研修

群馬県森林・林業基本計画について

日時 3月7日

講師 渋川森林事務所長

半藤 和之 氏

渋川森林事務所係長

千木良 誠 氏

県内の林業者は、戦後営々と山に木を植え、しつ

かり手入れをし、大切に守り育ててきました。今日、

これらの森林は大きく成長し、本県の森林の総蓄積量は8,800万m³にも達しています。一方、外材を含めた年間木材使用量は、丸

太にして70万m³で県産材の更なる利用をはかる必要があります。そのため、県では「群馬県森林・林業基本計画」を策定して10年後の木材生産量倍増を目指します。流通、利用までの総合的な施策を展開し、林業の再生、山村の活性化に取り組むことを目指します。

●木質ペレットについて
木質ペレットは燃料用として木材(原木)を粉砕し乾燥し成形(ペレット化)したものです。木質ペレットの意義としては環境に優しいことであり、木質ペレットの活用は森林資源の有効利用と林業の活性化につながります。

木質ペレットはこんな場面で活用されています。
・きのこ発生舎の暖房用ボイラー燃料
・いちごハウスの温風器用燃料
・トマトハウスの温風器用燃料
・一般家庭の暖房用ストーブ(県内では現在50家庭が使用しています)